

新型スパコンの 導入披露式典開く

東北大学金研

【仙台】東北大学金属材料研究所は16日、先月金研計算材料学センターにおいて本格稼働した新型スーパーコンピュータ「SR8000モデルG1」（日立製作所製）の導入披露式典（写真）を金研で開いた。

式典には阿部博之東北大総長ら学内外の関係者らが出席。阿部総長は「今回のスパコン導入により、金研がより魅力ある研究所になることを期待している」と祝



辞を述べた。

新スパコンの最大理論ピーク性能は、64ノードで921ギガFLOPS（1ギガFLOPSは1秒間に10億回の浮動小数点演算を実行）。国内では3位（導入時）の性能を持つという。今後、金研では材料設計シミュレーション研究手法の高度化などに新スパコンを活用。とくに分子エレクトロニクス設計や結晶成長の流体計算などに力を入れる構え。